

桶川ときわこども園 保育方針

入園時に必ずご確認いただきたいこと

<満3歳児入園向け>



ときわこども園の保育について

安心と信頼感を育む

園は子どもたちが初めて社会に踏み出す場所です。だからこそ、何よりも「安心して過ごせる場所」であり、「絶対的な信頼感」が育まれる場所であることを大切にしています。

一人ひとりの個性を尊重

性格、家庭環境、発達のスピードは一人ひとり違います。画一的な保育ではなく、個々の気持ちに寄り添った丁寧な関わりを重視しています。

子ども主体の保育

先生が引っ張るのではなく、子どもの「やりたい」を支え、日々の生活の積み重ねの中から自ら育つ力を応援します。



3年間の成長の軌跡



年少：楽しさと自信

「園に来るのが楽しい！」と感じられることが目標です。無理に教え込むのではなく、日々の積み重ねを大切にします。

✓具体的な成長

身の回りのこと（着替え等）がいつの間にか一人でできるようになります。生活に自信を持てるようになります。身体を使って遊ぶ心地よさも味わいます。



年中：自分と他者

「これが好き」「やってみたい」という意欲を実現し、自分自身を知っていく時期です。

✓具体的な成長

給食の量を自分で決めることで自分の食欲（気持ち）と向き合います。また、友達との意見の衝突や葛藤を通して、相手にも思いがあることに気づき始めます。



年長：協同と達成感

互いの気持ちを伝え合い、遊びの中で協力することを学びます。自己肯定感や非認知能力を育みます。

✓具体的な成長

クラス活動などで頻繁に話し合いが行われます。トラブルがあっても折り合いをつけ、皆で協力して一つのことを成し遂げる達成感を味わいます。



私たちが目指す保育とお願い

子ども主体の保育

保育とは、先生が中心にいて指示を出し、子どもを引っ張っていくものではありません。子どものそばに寄り添い、思いや言葉を拾い上げ、子ども同士の関係性を大切に育むものです。

▲行事についての大願お願い

当園の行事は、「大勢の人見せるための演技」や「練習」を中心には置きません。

立派な成果物よりも、日々の遊びの延長線上にある姿や、そこに至るまでの子どもたちの内面の育ち（協力、葛藤、達成感）を大切にしています。ぜひ、見栄えよりも心の成長を温かく見守ってください。



当園の考える満3歳児の教育・保育

葉 無理なく集団生活へ

子どもたちそれが楽しく遊ぶ中から新しい刺激を受けて少しづつ成長していくこと、決して無理はせず一人ひとりの成長を慎重に見極めながら集団活動に馴染んでいくことが目標です。

台 独立した安心の環境

満3歳児のみの独立したクラスで、発達段階にふさわしい環境（コーナー保育やゆったりできる雰囲気）を用意し、3歳児（年少組）とは異なる、より家庭に近い保育を展開します。

心 ご家庭との連携と柔軟性

体力的にも無理のないように、ご家庭とも密に相談しながら、必要に応じて園生活（時間や活動内容）について柔軟性をもって対応します。



満3歳児クラスの生活と行事



生活習慣の自立

まずは園生活に馴染むことを最優先し、その中で少しずつ自分の身の回りのこと（食事、排泄、着替えなど）が自分でできるようになることを目指します。



個に応じた保育

1年を通じて少しずつ在籍人数が増えていくクラスです。「全員で同じことをする」一斉保育ではなく、一人ひとりのお子さんの発達段階や状況に応じた丁寧な保育を行います。



行事への参加について

生活習慣の自立と個に応じた保育を展開するにあたり、年少組以上とは異なりまだ体力的・精神的な負担が大きいため、行事への参加は多くありません。日常の安定した生活リズムを崩さないことを大切にしています。





園の保育方針への ご理解をお願いいたします

子どもたちの「今」を大切にし、一人ひとりの健やかな育ちを支えるために。

保護者の皆様の温かい見守りとご協力を、心よりお願い申し上げます。

桶川ときわこども園

